



3 学期に行った国際バカロレア (IB) 探究活動をご紹介します！
保護者の皆様は学びの記録ポートフォリオと合わせてご覧ください。



学びの要素を紹介します

園では 1 年間に 4 つの探究活動 (ユニットと呼びます) に取り組みます。IB 教育には、学ぶべき知識は定められていませんが、学びを支える要素が設定されています。以下に、各ユニットに設定する要素を紹介します。

教科の枠を超えたテーマ：ユニットごとの大きな枠組みです。
セントラルアイデア：ユニットを通して気づいてほしいことです。

10 の学習者像：

IB の目指す姿にある「国際的な視野を持つ」ことを具体的に表したものが学習者像です。園ではオリジナルのロゴマークを使って、子どもたちにわかりやすく伝え、評価に活用しています。新聞内のイラストをご覧ください。

スキル (ATL: Approach to Learning)：
学習の基礎となる 5 つのスキルを示しています。



(IB 資料「学習者」より)

年少組

Sharing the planet (この地球を共有すること)
私たちには身の回りのものを大切に扱う責任がある

探究の流れ 身の回りの 1 長く使っているもの

関連

3 学期の年少さんは「丁寧」「大切」をキーワードに生活が始まりました。

長く使っているものをご家庭に呼びかけると、「お母さんからもらった着物」「お父さんが子どもの頃から使っている絵本」など様々な物の写真が集まりました！クラスで共有し、「どうして長く使えたのかな？」と問いかけると、「ちゃんとしまっていたから！」「大事に優しく使っていたからだよ」と丁寧に扱う方法を考える人の姿がありました。



先生の大切なものも聞いたよ！



2 自分のものを丁寧に扱う

視点

おもちゃを修理して大切に使う「捨てられたおもちゃ」の動画を見た年少さん。水筒は引きずられるとどんな気持ちかな？どうしたら園服を綺麗に畳めるかな？など日々の声かけから、身の回りのものの扱い方が変化してきました！
お友達の真似をしたり、互いに声をかけ合いながら、椅子の持ち方や机のシートなど共有物も大切に使う思いやりのある人が増えてきました。
ある日、整理整頓が上手にできているロッカーにっこりマークが…？自分のロッカーを見直し、他のお友達とも共有する振り返りができる人の姿もありました。



つみきを積み上げ高さを競う「積み木つみつきゲーム」では、「端と端を綺麗に揃えよう！」と崩れない方法を自分たちで考え、協力していました！

思考スキル

コミュニケーションスキル

3 周りのものを大切にする

責任

後半は、泥だんごリレーにも挑戦しました！泥だんごが崩れないように気をつけながら、走る時は全力で、でも渡す時は丁寧に優しく、とめりはりをつけながら上手に運びました。

「大切・大事にする」をテーマに進めた 3 学期。お片付けを最後までやったりと、信念を持つ人の姿もたくさん見られました！

「じゃあお友達とはどうやって接したらいいのかな？」と問いかけると、「優しくする！」との声。このユニットで学んだことを糧に、お友達への思いやりや周りの人への尊重の気持ちへ繋げてほしいと願っています。



一緒にやれば早いね！

年少組

How the world works (世界はどのような仕組みになっているのか)
自然のサイクルは私たちの生活に影響を与える

探究の流れ 1 季節の遊びと行事

特徴

1 年間を通して取り組んだ「季節」のユニット。3 学期は冬休みの思い出写真の共有からスタートしました！似ているものの分類も夏休み明けに比ベスムーズになり、お友達と声を掛け合いながら「これはお正月グループ」「これは雪！」と名前を決めました。



日陰は冷たいね！



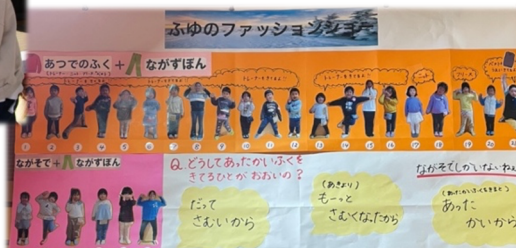
知識のある人

2 季節の移り変わり

変化

戸外では、氷や霜柱を見つけたり、歌「ゆげのあさ」に出てきた白い息を体験したりと、日々の生活の中で「冬」を感じることができました！

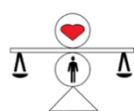
ブロッコリーの種まきをしたよ！



3 私たちの生活との関わり

原因

今年度から「自分で服選び」の取り組みを始めるなど、より季節の変化と生活の繋がりを意識した年少さん。衣服調整や水分補給など、自分の健康を保つバランスのとれた人の姿が伸びました！



10 の学習者像

各月の誕生会では、担任がカリキュラムを読み込み、試行錯誤を重ねながら、よりわかりやすく学習者像を伝えるために劇を作りあげています。

例えば、「バランスのとれた人」というと、文武両道のようなイメージを持ちがちですが、公式の資料を読むと、「身体・知性・心のバランス」「他の人々や私たちの住む世界と相互に依存していることを認識」とあり、それらを踏まえ生活のリズムを整えること・様々な活動に挑戦することの大切さを伝える劇へとアレンジしました。IB 教育では、子どもも教師も保護者も、子どもたちの学びに関わる全ての人々が「学習者」です。まずは私たち自身が学びを振り返り、より深い理解に向け学習者像の体現を心がけていきます！



10 の学習者像はこちら↑
(IB 資料「学習と指導」より)



誕生会の様子はこちら！





年中組

How we organize ourselves (私たちは自分たちをどう組織しているのか)
コミュニティは全てのメンバーが目的を共有し、行動することでより効果的に機能する

探究の流れ

1 身近なマーク

機能

4～5歳は文字や記号などに興味を持ち始める時期。3学期は身近な**象徴機能**のひとつである「**マーク**」について探究しました！

園内やお散歩で**標識**や**マーク**を見つけ、図鑑やiPadを使って意味を調べます。適切なリソースを選んで調べる力は大切な**リサーチスキル**のひとつ。図鑑の使い方がわかり、その後自由遊びの時間でも気になるマークを自主的に調べる**探究する人**の姿も見られました！



イギリスのマークも教えてもらったよ！



Wheelchair



英語活動の様子はこちら！

2 マークの意味と必要性

関連

家庭で見つけ、意味を予想したマークも加え、意味調べを進めていくと、「赤色は**禁止**」「黄色は**注意**」など色や形に意味があることに気づきました。似ているもの同士で分類し、「緑は**避難グループ**にしよう」など名前をつけることで、PYPで重要な**概念的**理解を深め、**知識のある人**の姿を育みました。



「Kahoot!」アプリを活用し、調べたマークのクイズに挑戦！

マーククイズ！



象徴機能を用いた探究

コミュニケーションスキル

3 コミュニティに必要なマーク

責任

マーク調べで知った色や形の意味を活かしながら、オリジナルのマークを作りました！「幼稚園にはどんなマークがあったらいいかな？」と考え、「廊下を走らない」「喧嘩をしない」などアイデアを出し、それらを形にするのに夢中！作ったマークは年少・年長さんのお友達に紹介し、園内に掲示しました。「目的を共有し、行動する」このユニットのテーマが子どもたちの中に響くことがあればいいな、と思っています。



「目が見えない」ってどんな感じだろう？



思いやりのある人



年長組

Who we are (私たちは誰なのか)
自分の特性、能力、興味への気づきが私たちの学びと発達を促す

探究の流れ

1 自分について

特徴

年長さんは3年間の探究活動の集大成として、自分の「好き」や「得意」をテーマにユニットに組みました。

「ぼく・わたしってどんな人？」のワークシートでは、自分の好きなことや得意なことに加え、お友達からの書き込みも！「外遊びが好きだね！」「泣いている子に優しくしているから、**思いやりのある人**だね」など、学習者像の姿になぞらえた意見がたくさん出ていました。



振り返りのできる人



自動車整備ってどんな仕事？

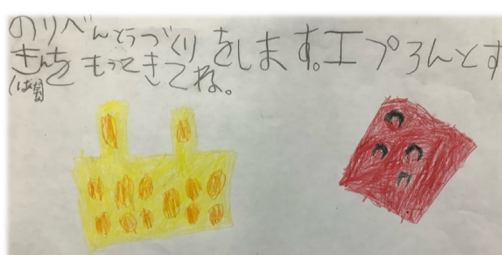
保護者の方にゲストスピーカーとして、お仕事についてお話をいただきました！

消防士・サッカー選手・パティシエールなど、様々な職種から興味のある仕事を選び、仕事内容や道具の使い方、「お仕事をする上で大切にしていること」などを伺いました。「どうしてそのお仕事を選んだの？」など気になることをたくさん質問！その後も職業に興味を持ち、絵本で調べる姿などもありました！

2 遊びのプロデュース

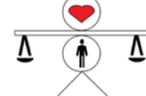
関連

自分の好きなことや得意なことを活かして、ひとりひとりがリーダーに立候補し、3学期のプロデュース活動が始まりました！グループで話し合い、意見をまとめる姿はさすが年長さん！頼もしい**コミュニケーションができる人**の姿がありました。



3クラス合同でのお楽しみは、各クラスのお楽しみリーダーが役割分担をして企画します。オリジナルの遊びのルールや準備するものなど、「どうしたらみんなが楽しめるか？」を考え、作り上げる姿は**バランスのとれた人**そのもの！環境や時間などの制限がある中で、アイデアを出していく**創造的思考**の力が伸びました。

思考スキル



3 特性の活かし方

責任

英会話活動の集大成である英語エキシビションのダンスリーダーは、どのクラスも完成度の高い振り付けとフォーメーションを考え、みんなに伝えました！運動好きさんはバスケットボール大会のリーダーとなってチームを引っ張り、製作好きさんは卒園間近のクラスを素敵に飾り付けしました。

プロデュース活動の振り返りでは、「あのアイデア良かったね」「教え方がわかりやすかった！」などお友達からのフィードバックを受け、リーダーとして最後まで責任を持ってやり抜いた**信念を持つ人**の成果が見られました。



作ったダンスをみんなに伝えるよ！



バスケのチームも自分たちで決めたよ！



アイデアが詰まったクラスの飾り付け！

IB ワークショップのご参加、ありがとうございました！

3月に行ったIBワークショップでは、実際に園での探究の写真を使って「10の学習者像」の姿を当てはめる活動を行うなど、保護者様同士で交流しながらIB教育の理解を深めました。

PYPでは、1年間に行う4つの「教科の枠を超えたテーマ」のうち、「Who we are (私たちは誰なのか)」と「How we express ourselves (私たちはどのように自分たちを表現するのか)」の2つは毎年必ず取り組むテーマになっています。集団の中からゆっくりと個を見出していく日本の教育に比べ、PYPは幼少期から「自分」に焦点を当て学ぶのが特徴です。情報が溢れる時代で、「正解のない問い」に向かっていく子どもたちにどんな教育や体験が必要なのか、今後も町田こばと幼稚園コミュニティがひとつになり考えていければ幸いです。



IB 振り返りアンケートにご協力ください
回答はこちらのQRコードから！